

御在所ロープウェイ安全報告書(2016年)



ごあいさつ

平素は御在所ロープウェイをご利用頂き、誠にありがとうございます。

御在所ロープウェイは、昭和34年4月29日の営業開始以来3,980万人を超えるお客様にご利用され、御在所岳の四季を彩る豊かな自然をご満喫いただいております。

当社は何よりも安全輸送に対し、皆様の信頼と信用に支えられた事業として、「安全輸送の継続こそ当社存続の命脈である」と強く認識するところであり、今後とも当社は、法令・社内規定の遵守を基本に安全最優先の姿勢を堅持するとともに、厳正な安全管理により事故の未然防止に弛みなく努め続けてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成27年度に実施した当社における輸送の安全確保のための取組みや経緯、実態をまとめ公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てるため、率直なご意見、ご感想をいただければ幸いです。

御在所ロープウェイ株式会社

取締役社長 辻 孝巳

—目次—

1 基本方針と重点目標

- (1)基本方針
- (2)重点目標

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1)索道運転事故
- (2)輸送障害
- (3)インシデント(事故の兆候)

3 輸送の安全確保のための取組み

- (1)教育訓練
- (2)安全のための投資等

4 当社の安全管理体制

- (1)安全管理組織と役割

5 お客様からの意見と事業者としての対応

6 ご連絡先

1 基本方針と重点目標

(1) 基本方針

当社は「安全基本方針」をつぎのように掲げ、安全が最優先課題であることを社長以下従業員に周知・徹底しております。

- 安全の確保は輸送の生命である。
- 規定の遵守は安全の基礎である。
- 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 重点目標

平成27年度の重点目標は次の通りです。

区分	項目	内容
定量的な目標	設備等による事故	運行中及び点検時における設備(ゴンドラ含む)の異常の早期発見に努め、設備不良に起因する事故の発生件数を0とする。
	人身障害事故	異常気象時等、悪天候時における適切な対応により人身障害事故の発生件数を0とする。

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成27年度において普通索道(ロープウェイ)・特殊索道(山上リフト)ともに事故の発生はありません。

(2) 輸送障害

※全日運休・・・強風等の荒天及び工事による終日運休(定期工事:平成27年6月9日から25日までの17日間を含む)

※時間運転・・・毎時0分・30分の定時運転によるもの(平常時は約1分間隔の連続運転をしております。)

普通索道(ロープウェイ)

平成27年度		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
遅延開始・早期終了	日数	1	0	2	1	4
全日運休	日数	22	5	3	5	35
悪天候時の時間運転	日数	14	7	14	11	46

特殊索道(山上リフト)

平成27年度		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
遅延開始・早期終了	日数	11	6	13	18	48
全日運休	日数	26	8	10	1	45

(3) インシデント(事故の兆候)

平成27年度において普通索道(ロープウェイ)・特殊索道(山上リフト)ともにインシデントの発生はありません。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 教育・訓練

①安全教育と人材育成

当社では、安全輸送の確保に万全を期すため、安全教育を実施し、安全を最優先に考える人材の育成に努めています。全社的な取組みとして朝礼にて昨日、当日の連絡事項を説明し、運輸技術部に於いては当日の線路状況、2日前までの運行状況を付け加え、情報の共有を図っています。また、繁忙期前にはミーティングを行い、安全・接客等の情報共有を図るとともに、課題分析と改善に取り組んでいます。また、専任担当者以外の社員に1か月点検作業の基礎知識の習得、OJT実習、設備異常の早期察知等、故障・事故の未然防止につながる安全監視体制の強化を図っています。

②各種訓練の実施

毎年、定期点検工事運休期間を利用し関係行政機関との合同救助訓練を実施し、事故や火災等の緊急事態に備えています。平成27年度より社内救助班を4班編成し、救助訓練を年4回(合同救助訓練含む)実施しました。また、防火管理者による消火器の取り扱い講習も実施しました。

(2) 安全のための投資等

安全の維持・向上のため、計画的に索道施設の整備・改修工事を実施しています。

平成27年度は6月9日～25日までの17日間の定期点検工事を実施しました。

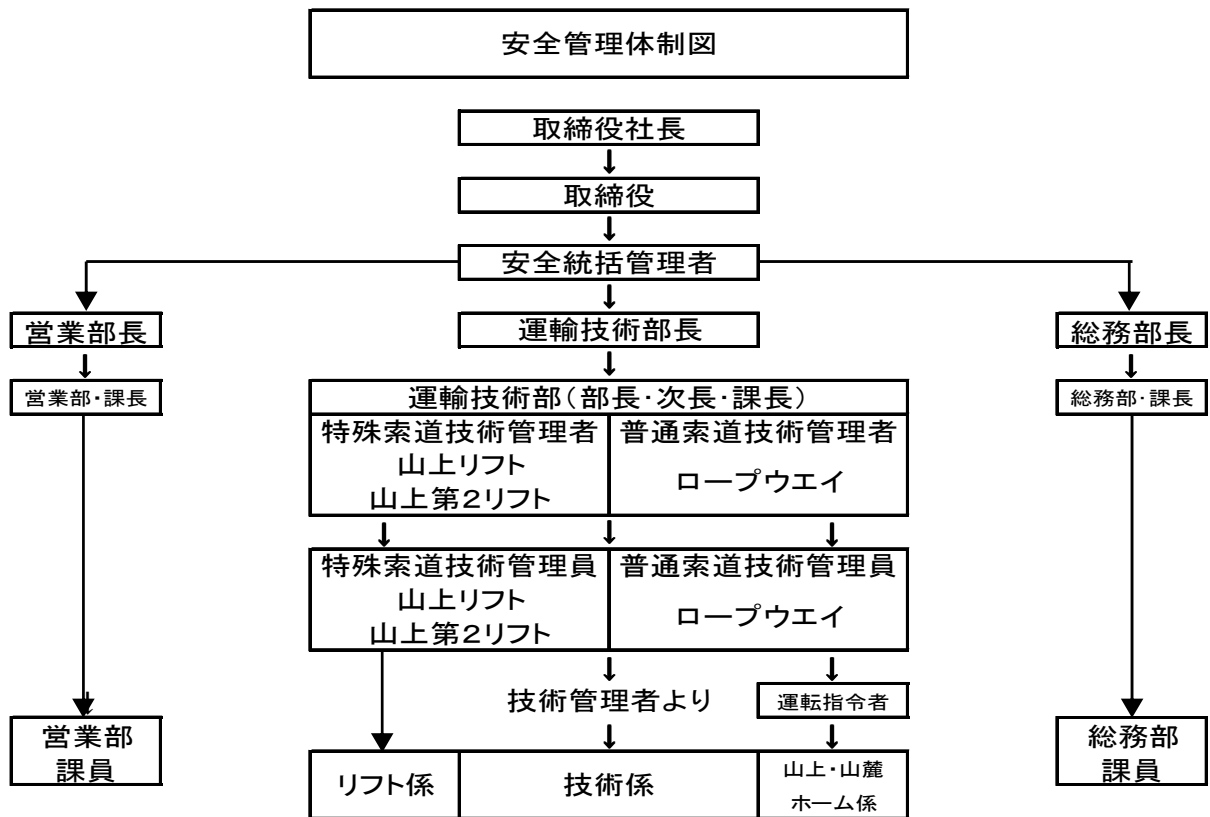
平成27年度に 実施した点検整 備・安全対策	普通索道	山上自動発車装置インバータ更新 制動機油圧ユニット更新 線路伐採(高圧電線路)
	特殊索道	保安通信線更新 各支柱索受装置点検、補修

4 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織と役割

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の役割と責任を明確にしています。

社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の管理、索道施設の保守管理を行う。
技術管理員	技術管理者の指揮の下、索道全般の管理、索道施設の保守管理を行う。
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
営業部長	旅客及び物品運送規則に関する業務を統括する。



5 お客さまからの意見と事業者としての対応

(1) お客さまの期待に応えられるようお客さまの立場に立ったサービスの提供に努めます。皆さまからお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼される索道事業者をめざし、これを役立てます。

今までの対策

◎車イスの配置 (山麓駅16台・山上駅3台)

◎自動体外式除細動器(AED)の配置 (山麓駅・山上駅・山上公園レストランアゼリア内 合計3ヶ所)

6 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見・ご要望は、下記までお寄せください。

〒510-1233

三重県三重郡菟野町大字菟野8625 番地

御在所ロープウェイ株式会社

TEL:059-392-2261

FAX:059-392-2526